

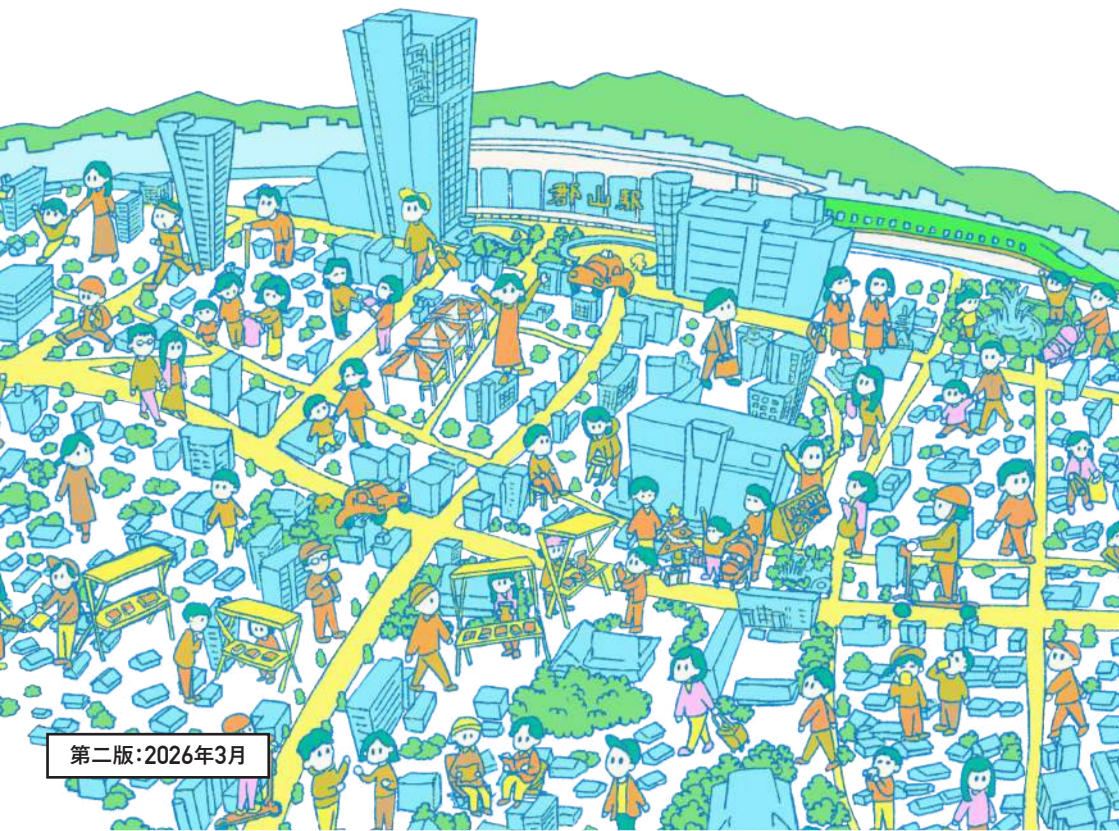
あるいて たのしむ こおりやま



KORIYAMA VISION BOOK

こおりやま公民協奏エリアプラットフォーム

こおりやまビジョンブック 2026



第二版:2026年3月

あるいて たのしむ こおりやま

このビジョンブックは、

わたしたちの暮らすこおりやまの「まち」を

もっと「身近な日常」に感じられるよう

暮らす人と行政とが手を取り合って

新たな取り組みが活発に生まれる「まち」の方向性をまとめたものです。

車で通り過ぎるだけのまちから

公園や広場、空き家を活用した

「あるいてたのしめるこおりやま」を目指し

こおりやまの日常をアップデートしていく

そんな目標を掲げ、動きはじめたまちの姿を紹介していきます。

さんぽの目的地を「まちなか」に

まちにわくわくと居心地の良さを生み出す

ウォーカブルという考え方。

みんなの好奇心や、やってみたいを持ち寄って

まちなかをもっと柔軟に活用できたら

毎日がもっとたのしくなるはず。

まちなかを「さんぽ」するように楽しめて

居心地の良さに引き寄せられて

歩いて向かいたくなる「公園」のような場所が

まちなかに生まれる仕組みを考えていきます。



国土交通省では、2020年度から広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組として「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業を創設し、ウォーカブルなまちづくりを共に推進する「ウォーカブル推進都市」を募集しています。郡山市も2019年に賛同しており、官民連携による持続的なまちづくりの実現を目指しています。

もくじ

このビジョンブックについて	02
エリアの全体像	06
郡山市の歴史	08
エリアの将来イメージ	12
わくわくをつくる仕組み	14
わくわくをつくる仲間／ロードマップ	15
エリプラ会議・ワークショップ	16
各エリア紹介／大町	18
各エリア紹介／中町	20
各エリア紹介／本町	22
各エリア紹介／清水台	24
郡山駅西口エリアに関するアンケート	26
各エリア&エリプラ活動記録	32

／ のぞいてみよう！ ／



エリアの全体像

大切にしたいこと

奥州街道沿線に残る歴史や文化を受け継ぎ
未来へとつなげる

対象エリア

あるいてたのしむエリアとして
4つのエリアを含む郡山駅西口エリアに注目

大町

郡山駅に隣接し、駅前アーケード商店街、大町商店街とともに
中心市街地の商店街として大型店舗の進出などで活性している
エリア。

中町

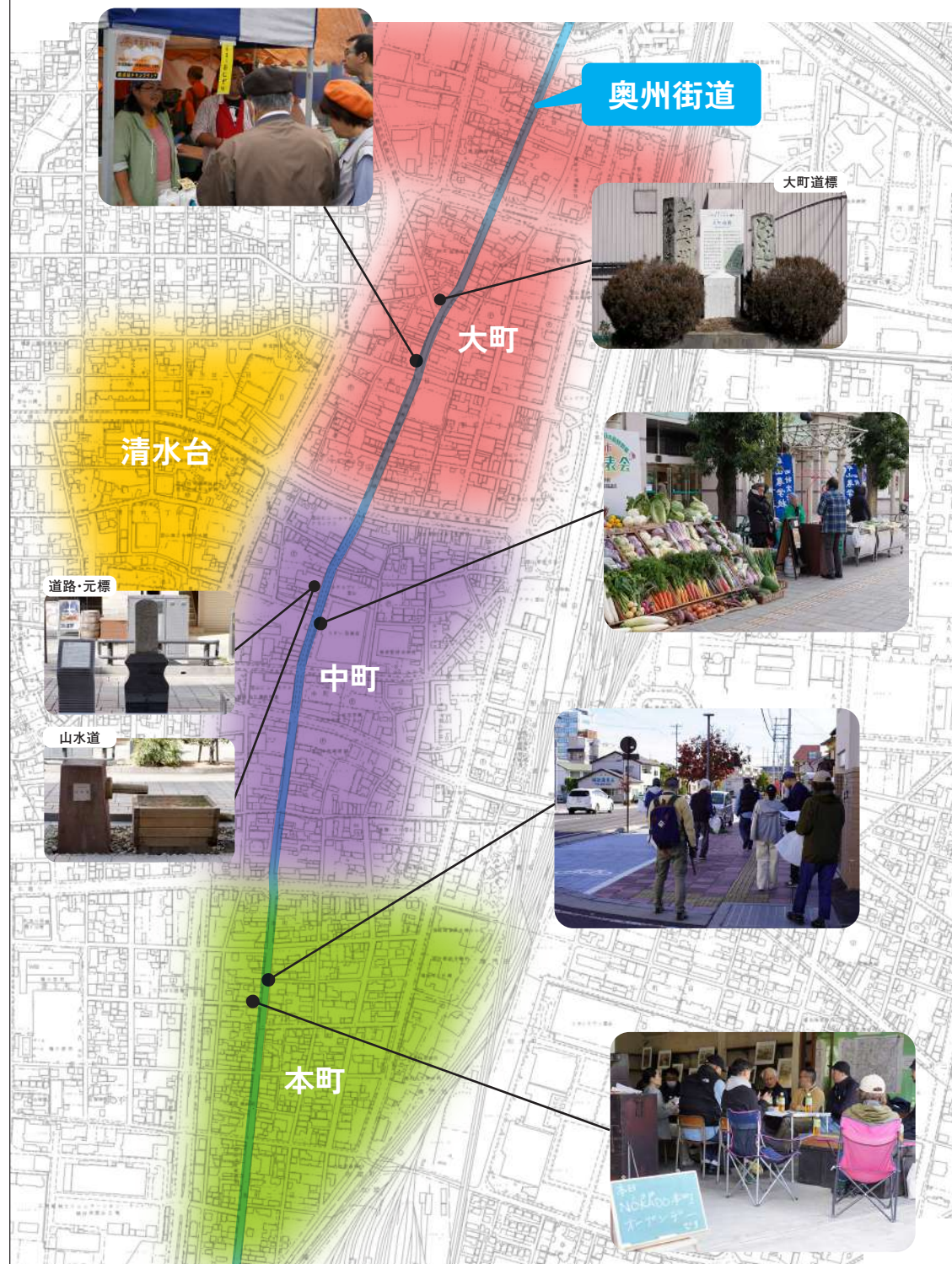
フロンティア通りと一体的に都市景観の向上を目指しており
植栽などを配し歩行者の方々が安らげる場所として整備を進
めているエリア。

本町

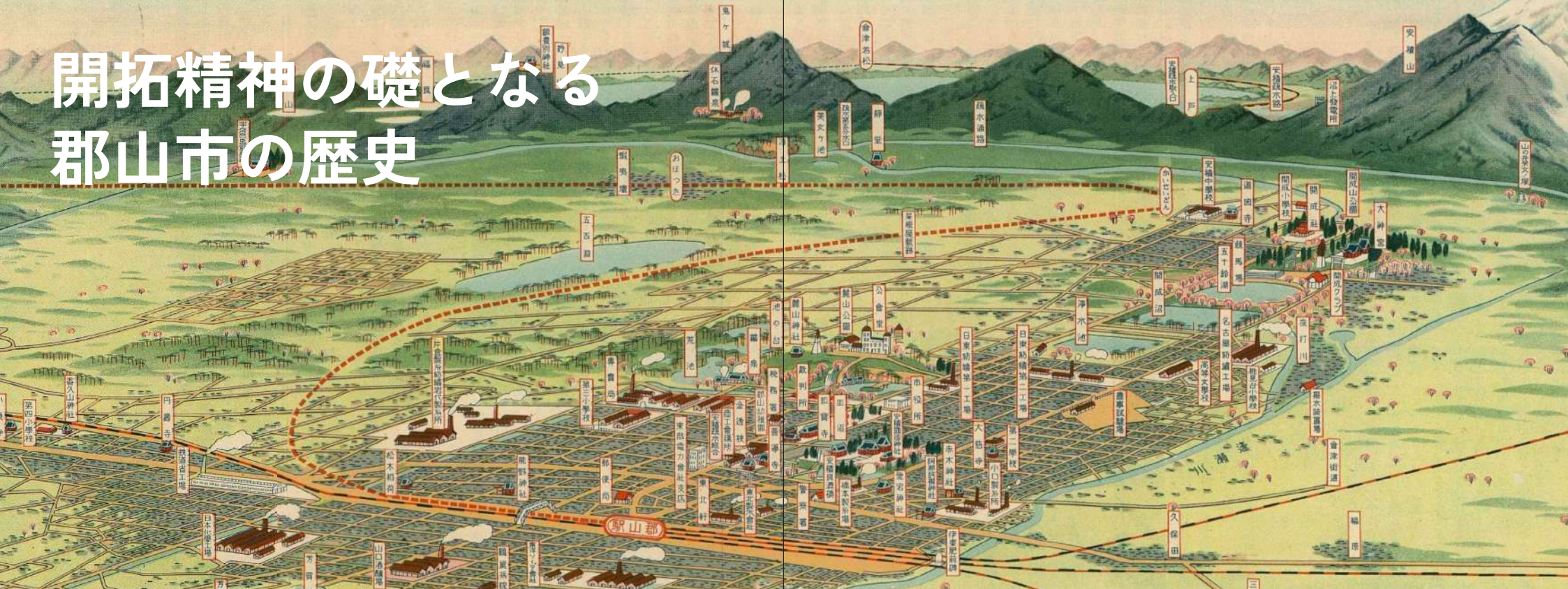
旧奥州街道を軸に暮らしと商いが交差する郡山の下町。住宅と
個人商店がひしめくゆったりとした時間が流れるエリア。

清水台

奈良～平安時代に郡衙(役所)として機能した清水台遺跡を保有
し、喫茶店や傘屋などの老舗店とカフェやセレクトショップと
いった新しい店舗が並ぶ新旧文化の交わるエリア。



開拓精神の礎となる 郡山市の歴史



引用:郡山宿解説パンフレット 過客賑わう宿場町郡山宿／(発行)郡山市文化スポーツ部文化振興課、テキスト引用:文化振興課web、画像出展:デジタルアーカイブ

宿場町として 栄えた郡山

慶長期(1596～1615)の末年に郡山宿が成立。町割りが実施され、郡山村は上町と下町の行政区に区分されました。また、宿の役人として名主・本陣・問屋等も置かれ、この時期に安積郡内の奥州道中に笹川・日出山・小原田・郡山・福原・日和田・高倉の七宿が成立しました。当初の宿は、中町から大町にかけて広がっていましたが、天和年間(1681～1684)に行われた町割りにより本町から大町の北側へ拡大、文政7年(1824)に村から町へ昇格したことにより、翌年には本町の南側が更に拡大しました。



左／一蘭斎国綱
「孝子彌五郎伝 郡山駅」
(安齊家所蔵)

右／十返舎一九撰・歌川美麿画
『諸国道中金の草鞋 五』より
「笹川宿」(安齊家所蔵)

日本三大 疏水の一つ 「安積疏水」

安積疏水は、水利が悪く不毛の大地だった郡山の安積原野に猪苗代湖からの水を引いた大事業。3年の年月を費やし、延べ85万人の労働力を注ぎ込み、明治15年8月、幹線水路の延長52キロメートル、分水路78キロメートル、トンネル37か所、受益面積が約3千ヘクタールという安積疏水が完成しました。この安積疏水は、疏水百選にも選出されています。



安積疏水開削当時の十六橋水門

幕末そして、明治維新。東北開発の先駆けとして選ばれたのが、郡山の「安積野(あさかの)の地」。幕末には人口5,000人を擁する奥州街道有数の宿場町でした。そして猪苗代湖から水を引いた、安積疏水(あさかすい)の開削(さく)事業。現在、東北地方をリードする都市までに成長した人口約32万人の中核市「郡山市」の礎、それが「安積開拓」です。現在も脈々と市民に受け継がれる開拓者精神(フロンティアスピリッツ)がこのまちの原動力となっています。

まちの原動力 開拓者精神！

写真で振り返る
昭和～平成
の駅前西口エリア



1965

1997

OOMACHI

こどもから
お年寄りまで
健康で安全に
楽しめるまちに！



広くなった
「日の出通り」で
なにして！

ストリートファニチャーで
ぼーっとする至福の夕暮れ…

駅前大通りの喧騒こそが
わが故郷！

新しいまちの拠点
「おおまちてらす」で
自分再発見！

駅前大通りで演奏会！
誰でも参加OKだよ！

まちをまわって
お気に入りの
お店を発見！

日中も明るく歩ける
アーケードがいいね！

洒落たセンスの「うすい」で
すてきな昼下がり♪

大人も子どもも、昼も夜も
「芳山公園」に集まろう！

電動キックボードで
渋滞もへっちゃら！

「愛宕神社」の
御神木は隠れた
パワースポット！

「安積国造神社」のお祭りを
みんなで盛り上げたい！

人が自然と集まる
イベントが活発に
行われる！

公園や神社を活用した
ブックナイトマー
ケットの拡充や、清水
台全体のイベントな
どを企画・開催



SHIMIZUDAI

にぎわいが生まれるまち！ エリアの将来イメージ

車や自転車から降りて
歩いて新発見するまちの魅力！

音楽が流れる
街路灯ってすごい！？

「フロンティア通り」でのマーケットを
まちの日常にしたい！

クリーンアップ&
おにぎりクラブに
みんなおいでよ！

こんなところに
トレーラーハウス！
みんなで使おう！

「表参道」のマルシェで
新鮮食材ゲット！

堂前は新しいカルチャーの
発信拠点！

しっとりとした
「一心坂」をそぞろ歩き

MOTOMACHI

まちの余白、駐車場や
建物を有効活用したイ
ベントや事業で、世代を
越えた触れ合いを生む



「MOTOMACHI Fes」で
子どもが楽しく
過ごせるまちを！

「nokado本町」が
まちと人の交差点に！

うすい通りを活用した
大型イベントやクリ
スマーケットなどの
企画・開催



NAKAMACHI

わくわくをつくる仕組み

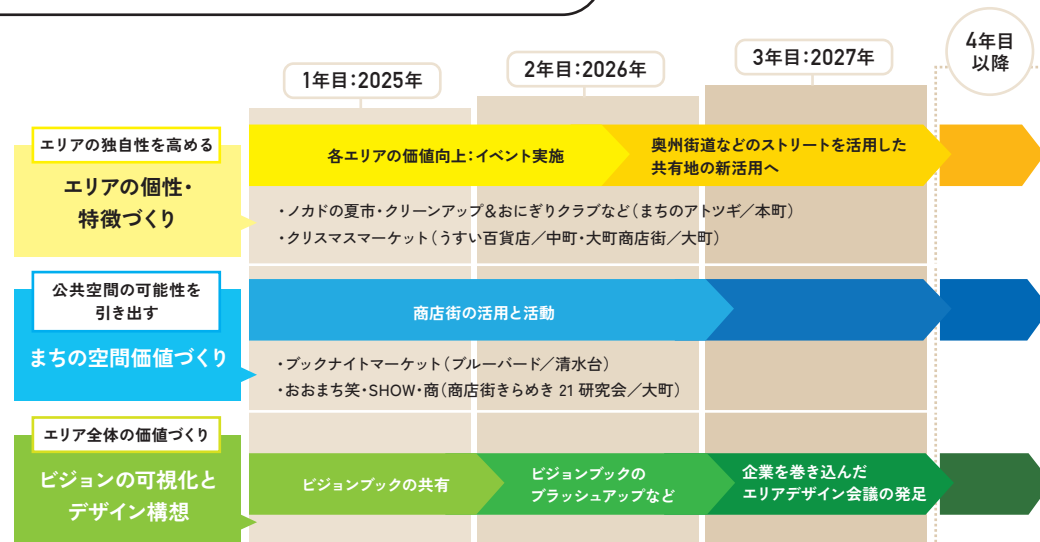


わくわくをつくる仲間

郡山駅西口エリアを中心に
民間事業者や地域の商工団
体を中心に、まちの課題など
を協議し、公民連携でエリア
価値向上に向けて取り組む
団体として「こおりやま公民
協奏エリアプラットフォーム」
が立ち上がりました。



ロードマップ



エリプラ会議・ワークショップ

まちがどんな風に変われれば「あるいて・たのしむ」ことができるでしょうか。エリプラメンバーで、それぞれのアイデアを出し合い、方向性を絞ることで将来のまちの姿を具体化する一歩を見出しました。



【キーワード】

ごみが落ちていないまちに

賑わいを作り出すとは、
お金が儲かる賑わいなのか
人が集まる賑わいなのか？

クリスマスマーケットを行いたい

仕事も家庭もバランスよく
両立できるまちが理想

サードプレイス的な
場所を目指している

小商ができるスペースが生まれればいい。
昔の横丁のような小さな店が並び、
そんなまちになればいい

子どもたちに
楽しい思い出を
つくってもらいたい

おしゃれで健康的

恋人と腕を組んで歩ける
大人なまちを目指したい

空き家の活用として内装など
最近もしっかり作る店が増えきた

いろいろな人と出会えるまち

大町1丁目2丁目はもともとつながっていた場所。
新しくつながりが生まれ始めるまちだと感じる

余白のあるちょうどよいまち

若者のカルチャーを育てたい

にぎわいもいいけど
ゆるい静けさも大切

月極駐車場が多いため、日中はスカスカ。
この状況を利用し、本町にてマルシェの拡大を行いたい

暮らしとエンタメの起点

～歩いてつながる大町のイ・ロ・ハ～

郡山市大町は、異なる表情を持つ3つのエリアが大きな道路で区切られながらも、それぞれの雰囲気を感じ取ることができるまちです。かつての会津街道や三春馬車鉄道といった歴史的な要素を起点とし、ここでは暮らす人と訪れる人、過去と未来が自然に交差し、新たなつながりが生まれます。

私たちは、大町を「歩くたびに新しい発見があり、心豊かなつながりを楽しめる町」として発展させていきます。一步一步の移動が、暮らしの充実やエンターテインメントの楽しみへとつながる、そんなまちを目指します。

＼ 以下を大町の代表者にお聞きしました！ ／

①あなたにとっての大町とは？ ②どんなまちにしていきたいですか？ ③これからやりたいことは？



1 駅前の隣が大町。
美術館通りを境に、北側南側に分かれている。
通りを越えると大町って違う感じがする。

2 大町・本町が核になり
2点を繋ぎ合わせる中間地点が
駅前になる。まちづくりの核に
なれると思います。

3 コンパクトシティという考え方を
郡山にどう落とし込むのか、
そのヒントを我々の活動から
受け止めてもらえるのではと思う。

2 中町と本町、大町1丁目と
大町2丁目、それぞれとても大事なところがあるので
駅前通りを中心に、品のある大人のまちになればいい。

1 郡山の好きなところは商店街が
まだ残っているところ。昔からの
人たちのまち独自の文化がある。

1 こどもの頃の郡山は、みんなが興
味を持つ場所がいっぱい。畳屋さ
ん、桶屋さん、模型店、電気部品屋
・刺激的なものがあつた。



公益財団法人 星総合病院 理事長
星 北斗 さん

2 大町は夜8時に高齢のご夫婦がお
散歩できるくらいのまちにしない
と。若い人がいるのは元気でいいけ
れど下町商店街はお年寄りや孫た
ちが楽しめる場所にしてほしい。

1 こどもの頃、大町は暮らしの場であり、遊び場
であり、ご近所の大人たちの温かな思いやりに包
まれたまちでした。今もなお、自分にとって大町は、
大切な居場所であり、誇りを持って関わり続けたい
まちです。

2 こどもたちが楽しい思い出をつくれる、活気あふ
れるまちを目指して。その実現のために、私たちにで
きることを考え、行動し、形にしていこうまちでありたい。



宮川包装資材(株) 代表取締役社長
宮川 雄次 さん

3 大町の「再発見」「再確認」「再発信」を重ねながら、自ら
動き、まちを元気にする。周囲を巻き込み、楽しみなが
ら、未来へとつながるまちづくりに取り組んでいくい
ければと思います。

1 安心できる街。何かあっても近隣で
助け合える、昔ながらの商店街。



丸栄ふとん店 代表
片田 尚子さん

2 再開発が進み、日の出通りが新しくなります。電柱地中化も進
み景観もステキになりました！大きなビルも無く空が広がっ
ていて、こちら公園のように気軽に散歩にこれる場所になりそ
うです。若者がtry出来るような小さなスペースを沢山設けたい
です！きっと若者の夢が実現出来るはずです。

3 今年は外国のお客様も来て頂けるように
外国の旅行サイトにも座布団作り体験を
掲載します。その他のワークショップをす
る方も募り気軽に街に来れる仕掛けをし
ていきます！まずは一歩前に♪

各エリア活動紹介

中町

老若男女が集う、心躍る「ショッピング」と「情報発信」の中心地、中町

中町エリアには、百貨店やおしゃれな洋服や雑貨のセレクトショップ、美味しいドーナツやパン屋さん、居心地の良いカフェなど、多彩なお店が集まっています。ここは、ただ歩くだけでもワクワクするような都会的な雰囲気を楽しめる「ショッピングエリア」です。昼間は買い物やカフェでのんびり過ごし、夜は老舗の焼き鳥屋さんや地元の新鮮な食材を使った居酒屋さん、若者が集まるライブハウスなどで賑わっています。中町エリアは、昼と夜それぞれに違った楽しみ方ができ、老若男女が集まる場所として活気に満ちています。また、中町エリアは、最新のトレンドや地域の魅力を伝える「情報発信拠点」としての役割も担っています。百貨店や商店街では様々なイベントを開催しており、訪れるたびに新たな発見があります。たとえば、7月から12月にかけて毎月開催している「あぐり市」では、郡山産の旬の野菜を紹介し、採れたての美味しい野菜を販売することで、郡山の農業を知ってもらうきっかけを提供しています。心躍る買い物体験と、訪れるたびに新たな発見がある場所。それが私たちの目指す中町エリアです。

＼ 以下を中町の代表者にお聞きしました！ ／

①あなたにとっての中町とは？ ②どんなまちにしていきたいですか？ ③これからやりたいことは？



郡山ビューホテル(株)
小桧山 亮太さん

① こどもの頃は、年末の買い物やバスに乗り遊びに出かける背伸びした特別な場所だった。今は職場の仲間が出来た大切な場所。

② 夜はにぎわいが増えてきたので、昼に子どもや若い世代が集うまちにしていきたい。

③ 普段使いでにぎわうまちづくりの一助になりたい。



郡山ブランド野菜協議会 会長
鈴木 光一さん

① 中町は小さい時からの憧れの場所。ほしいものも沢山ある場所だった。そして今も変わらずワクワクします。

② 福島県のある中心である郡山市、その賑わいの中心にしたいと思います。

③ 月一回開催のあぐり市をもっと盛大に出来たらいいな。



善導寺 住職
中村 宜孝さん

① 生まれ育てられた場所なので、自分にとっての根っこだと思います。

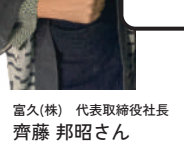
② 多くの方が交流できる居心地の良い街にしていきたい。

③ 安積開拓の歴史があるので、誰でもチャレンジできる街をつくりたい。

① 地域の方々の温かさに触れる場所であり、安心できる居心地の良い場所。

② 人との繋がりを強く感じられる場所にしていきたい。笑顔溢れる日常、地域イベントなどは、かけがえない時間です。

③ 世代を超えて自分たちの街を愛する心を育む仕掛けを皆で考えていきたい。



富久(株) 代表取締役社長
齊藤 邦昭さん

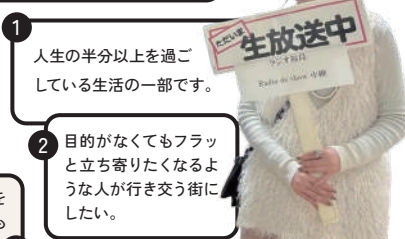


和光地所(株)
代表取締役社長
根本 浩典さん

① 昔は中町全体がにぎわっていた。人が多く、肩がぶつかるぐらいの人混みだった。今も会社があるため常にいる場所。

② 県内唯一のうすいデパートさんを存続させるために商店街としても盛り上げていきたい。

③ 商店街とうすいさんと連携して1日中誰でも楽しめるイベントを企画したい。



(株)うすい百貨店
興治 沙緒里さん

① 人生の半分以上を過ごしている生活の一部です。

② 目的がなくてもフラッと立ち寄りたくなるような人が行き交う街にしたい。

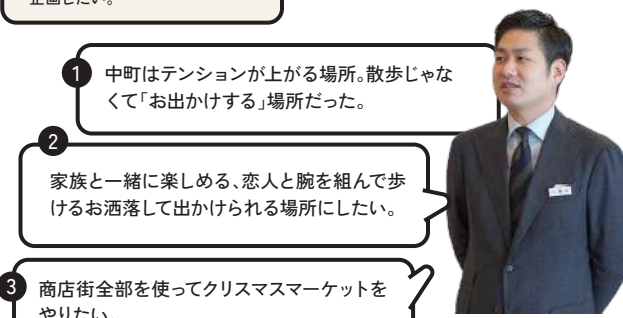
③ うすい前を活用した様々なイベントを増やしていきたい。



(有)和久屋 代表取締役
渡辺 智己さん

② 先人から受け取った歴史を大切に、『今』を描き加えられる、寛容で活気ある循環を次世代へ繋ぎたい。

③ 歴史に光を当て、多世代が交差して生まれる『仕掛け』を、この場所から発信したい。



(株)うすい百貨店
薄井 仁郎さん

① 中町はテンションが上がる場所。散歩じゃなくて「お出かけする」場所だった。

② 家族と一緒に楽しめる、恋人と腕を組んで歩けるお洒落してお出かけられる場所にしたい。

③ 商店街全部を使ってクリスマスマーケットをやりたい。

下町の余白を楽しもう。 かわりしろのある町、本町

本町は旧奥州街道を軸に暮らしと商いが交差する郡山の下町です。かつての賑わいは衰退とともに薄れつつありますが、その一方で、そこには新たな暮らしや商いの可能性ともいえる「余白」が広がっています。この余白は、住民や訪れる人が発見し、人とのかわりによって日々の暮らしを楽しむ場へと形を変えていきます。本町特有の静かでゆったりとした時間の流れ、そこに生まれる「かわりしろ」が、新たなコミュニティや文化の再生を支えます。何気ない散策の中で、小さな路地や小店とのふれあいが、人と人をつなぐきっかけを生み出し、いつも新しい魅力が発見できる「歩く」ことが楽しいまちを目指しています。

＼ 以下を本町の代表者にお聞きしました！ ／

①あなたにとっての本町とは？ ②どんなまちにしていきたいですか？ ③これからやりたいことは？



1 学生の頃から馴染みの店がありよく通ったまち。カメラを片手にまち歩きをしたことも。今もご縁のあるまちです。

2 お店が閉店し人通りも少ないので、もっと外に出るきっかけをまちに仕掛けることで、人の営みが感じられる親しみのあるまちにしていきたい。

3 空地・空家が多いので、神出鬼没の週末屋台や蚤の市など小規模で住民とともに楽しめるイベントを日常化したい。

田邊誠建築設計事務所 代表
田邊 誠さん

1 商いははじめとした様々な挑戦が積み重なってきた、人とアイデアの交差点。

2 若者と企業・団体が探究を通じて学び合い、未来への挑戦が自然に生まれるまち。

3 本町らしさと向き合いながら、探究とAIで新しい学びや仕事を生み出すこと。

(株)ブレインベーション 代表取締役
(一社)PEP MOTOMACHI 理事
菅家 元志さん

1 クリニックの継承開院の御縁をいただいた場所。

2 安心して、楽しく過ごせるまちにしたいです。

3 「やってみたかったこと」を思い出したり、挑戦したりできる。そんな応援の輪を広げていきます。

1 開院させていただき新たな出会いが沢山あるワクワクする場所。

2 それぞれが居たいように過ごせる居心地の良いまち。

3 お会いする方の人生がより良いものになるよう、お話を聴き、その方の「やってみよう」を応援したい。ワクワクすることを一緒にやっていきたいです。

よりみちクリニック 副院長
遠藤 翔太さん

1 帰省の度に来ていた場所。先代が地元のために医業を続けてきた場所を継いでいます。

2 先代は「本町界隈で一番人が来るところ」と言われたそう。集客のためには医業だけではなく「何か」をしなくてはと思います。

3 「街の保健室」は、診療所、薬局、IT事務所に加え、小さな遊び場も設置。本格的にその構想を実現すべく動き出したい。

医療法人仁寿会 菊池医院 院長
(一社)PEP MOTOMACHI 代表理事
菊池 信太郎さん

1 不動産業のキャリアスタートの地(笑)本町とまちのアトツギは私の心の拠り所です！

2 散歩がてら気軽に本町に来て、歩いて面白さを発見してください！

3 本町には昔お店だった建物が多くあるので、それらを有効活用していきたいと考えています。

(株)コノマチ不動産 代表取締役
佐藤 弘樹さん

1 本町は「商いと暮らしのまち」。現在は空き店舗等の課題もありますが、「まちのアトツギ」として活動し、次世代へ繋いでいければと思う。

2 「ちゃんと「らしさ」が伝わるまち」にしていきたい。刷新ではなく、元々ある良さを整えて伝える。記憶に残るまちにしていきたい。

3 小さくても定期的なイベントを続けること。本町で頑張るひとたちと一緒に小さな仕掛けを積み重ねていきたい。「本町ってなんか動いてるよね」と言われることが目標。

OKU DESIGN 代表
奥河 千弘さん

1 本町はたくさんの思い出、家族や先祖、地域の方々とのストーリーがある場所です。

2 「〇〇のアトツギ」というフォーマットで、ものや思いが引き継がれ、地域資源が循環していく、イベントや事業をやりたい。

3 町内外の人々の個性が発揮され、ここにしかない雰囲気やお店、文化が生まれるまちにしていきたいです。

伏見屋ガラス店 代表 三保谷 泰輔さん

各エリア活動紹介

清水台

ひとりひとりのわくわくからはじまるまち「清水台」

清水台は、自由な発想や自分らしい挑戦が循環し、流れるように広がっていく地域です。このまちは、ひとりひとりが自分のやりたいことを見つけ、無理なく実現できる環境が整っています。清水台では、さまざまなアイデアが染み出し、みんなの情熱が集まってスタートアップが次々と生まれています。人々のわくわくが湧き出て、そこから連鎖的に新しいプロジェクトやコミュニティが形成され、地域全体が活気づいていくのです。このように、清水台は各自の挑戦が交差し、共に成長していくことで、さらなる未来へと広がっていく、魅力ある場所となっています。

清水台で活躍する方々にお聞きしました！

①あなたにとっての清水台とは？ ②どんなまちにしていきたいですか？ ③これからやりたいことは？



① じぶんと家族にとってのふだんの生活や仕事をするいとなみの場所。

② 福島や郡山をおもしろがる人たちが、たくさん行き交うまち。

③ 好きな映画の話をとことんしたり、映画好きな方々を集めた作品上映会をしたいです。

自家焙煎喫茶WEEKEND 店主 小川 大介さん

① 清水台は「劇場」の様なところ。行く度に自分の物語がページに刻まれる感覚があります。

② 「個々の」と言うよりはまちレベルでコンテンツを生み出せる強いまちにしていきたいです。

③ 清水台の人たちにフォーカスしたミュージックビデオ作りたいです。

① 創造力を掻き立ててくれる活動の拠点。

② 健やかに暮らせるまち。

③ おもしろい商店街をつくってみたい。

一般社団ブルーバード 代表理事 佐藤 哲也さん

株式会社tentoTen アーティスト 和田 辰也さん

① 人生のほとんどの時間を過ごす場所。

② 神と人、人と人とが温かく結ばれるまち。

① 妻の実家がある清水台と結婚をきっかけに縁ができ、少しずつ関わるようになりました。今ではこどもと一緒に秋祭りに参加したりと生活の一部になっています。

② 他の地域から人を呼ぶことも大切ですが、清水台に住む人々が、ただ家に帰るだけでなく、自然と寄り道したくなり、人と触れ合う機会が生まれるようなまちになれば嬉しいです。

③ 小さくても良いので清水台に住む人たちとつながれるようなアクションを起こせたらいいなと考えています。

安積国造神社 安藤 礼重さん

イガラシ建築事務所 建築士 五十嵐 龍太郎さん

① 安積国造神社のお祭りでお神輿を担いだり、イベントを開催したりしているうちに自分のまちだと思えるようになりました。

② 自然と交流が生まれ、そのチャレンジを互いに支え合える関係性が生まれるまち。

③ 私の小さなチャレンジを応援し、支えていただきました。これからは私が誰かを応援し支えられるようにしたいです。

郡山市役所 職員 小川 俊介さん

① 中学時代に学習塾に通い、社会人でビジネススクールに通い、セミナーを受講し、震災後は経済団体の会合で集まった、私にとって学び続ける場所。

② 学生、社会人、旧住民など、多様な世代の方々にとって、学びが生まれ、感性が育まれる、文化的な発信ができるまち。

③ 空き不動産を活用した、人が集う場所作り。音楽イベントの開催。秋の芋煮会やお正月のお餅つき大会。

① お店、お客様の関係を越えた実家のような温かさ

② 年齢、性別、職業、など関係なく皆さんが関わり交流を深められる場所にしたいです！

③ 清水台祭り！ですね！

トラストホーム株式会社 代表取締役 古川 広毅さん

ENOTORIA オーナー 佐藤 政和さん

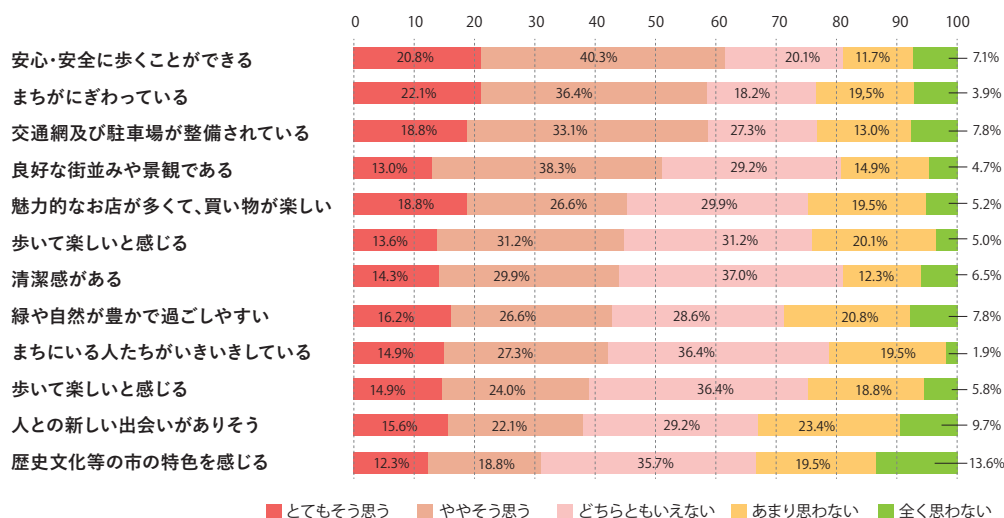
郡山駅前エリアに関するアンケート

■来街者アンケート

※郡山駅西口周辺滞在者・通行人を対象に、令和5年7月に実施。(回答者数:301人)
※グラフは「郡山市在住」と回答した「154人」のデータを基に作成。

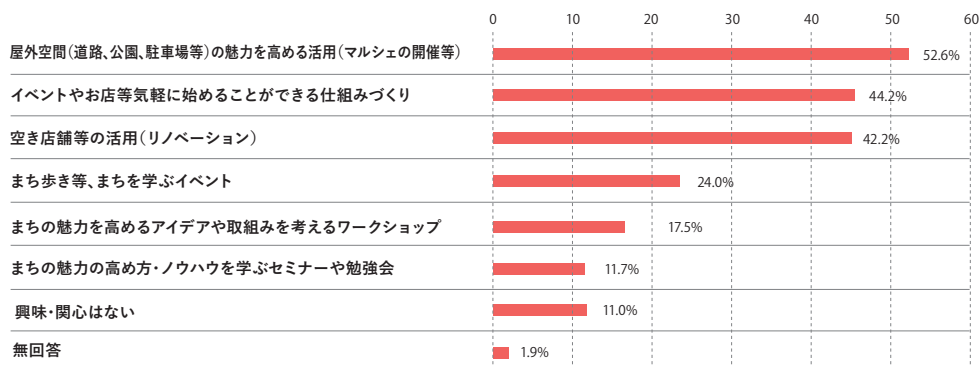
Q 対象エリアへのイメージを教えてください

- 対象エリアのイメージ(「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計)は「安心・安全に歩くことができる」で61%、次いで「まちがにぎわっている」が59%と高かった。
- 一方でイメージから遠かったのは「歩いて楽しいと感じる」「人との新しい出会いがありそう」「歴史文化等の市の特色を感じる」の3項目で「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計が40%を下回った。



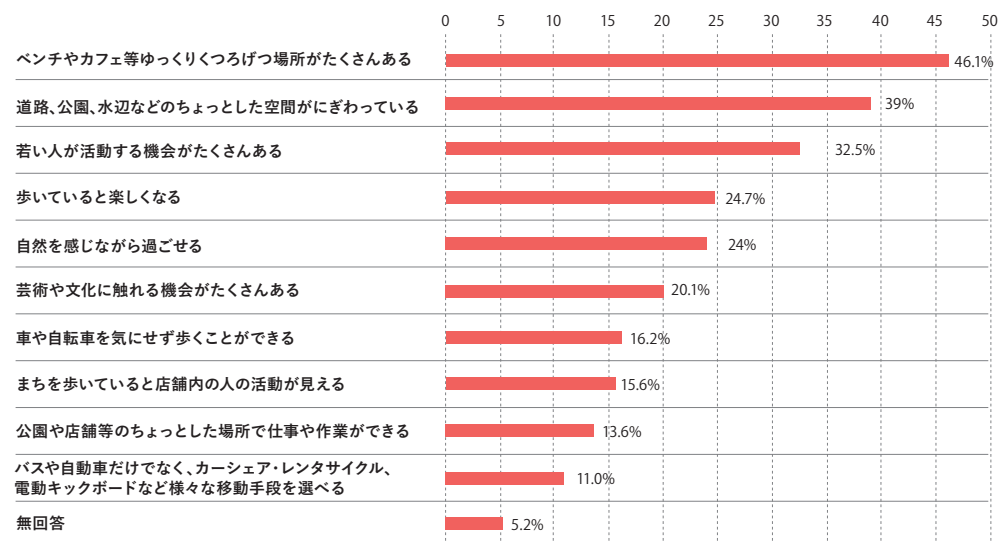
Q 興味・関心のあるまちづくりに関する活動は何ですか(3つまで選択)

- 最も高かったのが「屋外空間の魅力を高める活用」で52.6%となった。
- 「興味・関心はない」が11%であり、残りの9割の方はまちづくりに興味があるといえる。



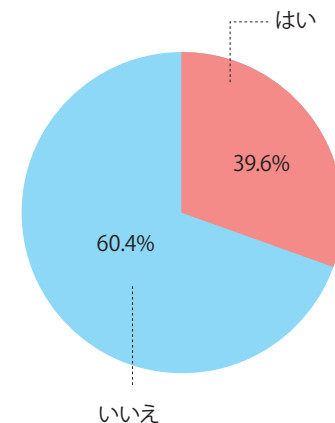
Q 今後エリアに必要なと思う魅力をお答えください(3つまで選択)

- 最も高かったのが「ベンチやカフェ等ゆっくりくつろげる場所がたくさんある」で46.1%となった。
- 一方で交通手段に関して「車や自動車を気にせず歩くことができる」「バスや自動車だけでなく、カーシェア・レンタサイクル・電動キックボードなど様々な移動手段を選べる」が20%を下回った。



Q まちづくり活動に実際に参画したいと思いますか

「はい」は約40%となり、興味関心はあっても参画のハードルはまだ高いといえる。



郡山駅前エリアに関するアンケート

■学生アンケート

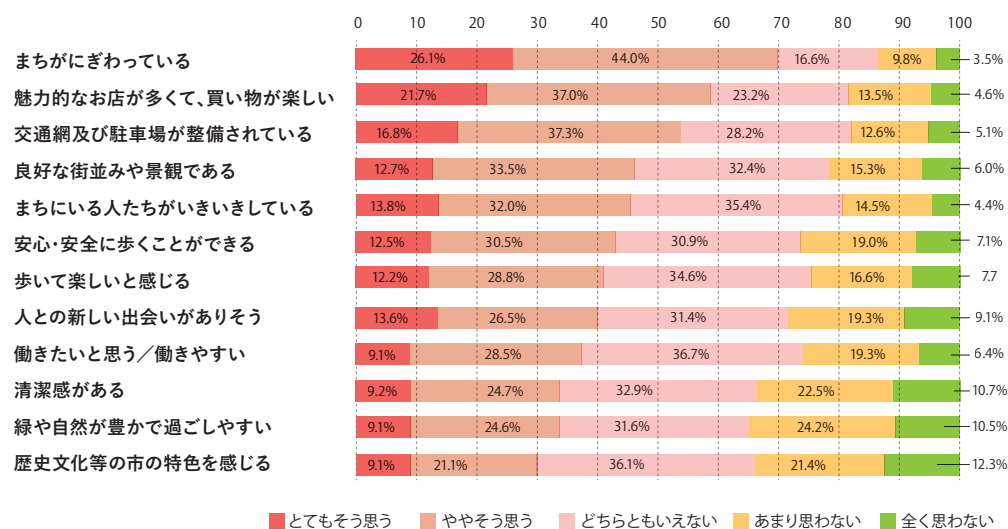
※市内高等学校専門学校に通う学生を対象に、令和6年1月～3月にかけて実施。(回答者数:1,323人)



対象エリアへのイメージについてお伺いします。

次の各項目について、当てはまる項目をお答えください

「まちがにぎわっている」と感じている学生が70%と最も多かった。

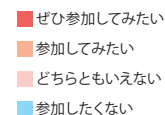


まちづくり活動に実際に参画したいと思いますか

「どちらともいえない」が半数を超え、最も高い回答割合となった。

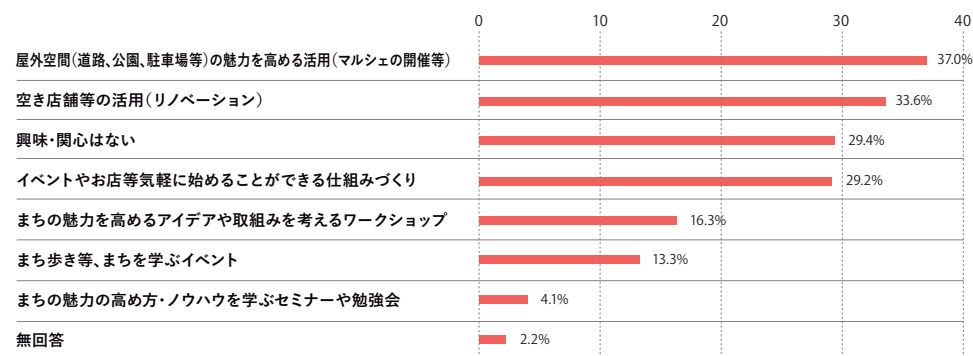
「ぜひ参加してみたい」「参加してみたい」の合計は25.9%と、

「参加したくない」の19.2%を上回った。



興味・関心のあるまちづくりに関する活動があればお答えください[3つまで選択]

「屋外空間(道路、公園、駐車場等)の魅力を高める活用(マルシェの開催等)」が約4割と最も高かった。一方で「興味・関心は無い」が約3割となった。

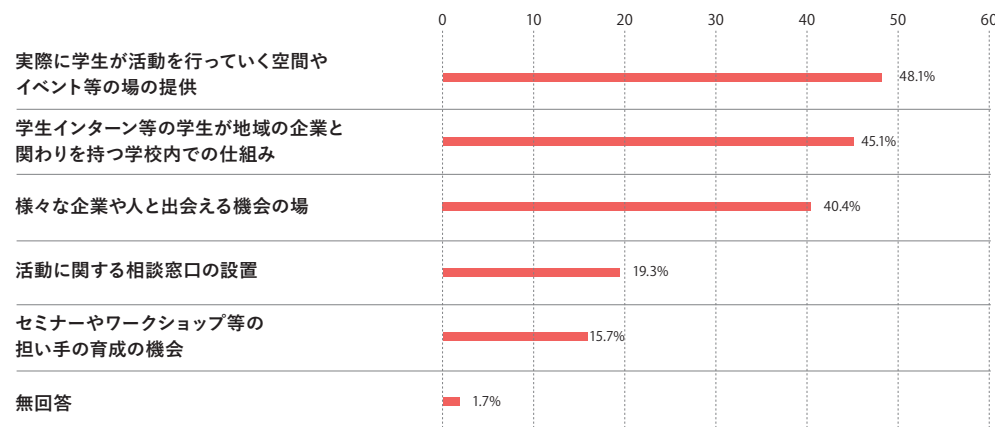


今後対象エリア内での学生と地域が連携したまちづくり活動の実現に向けて

どのような取り組みが必要だと思いますか[3つまで選択]

■「実際に学生が活動を行っていく空間や場の提供」が約5割と最も高い割合を占めた。

■「学生インターン等の学生が地域の企業とかかわりを持つ学内での仕組み」や「様々な企業や人と出会える機会の場」といった項目も回答率が4割を超えており、上位3項目に回答が集中した。



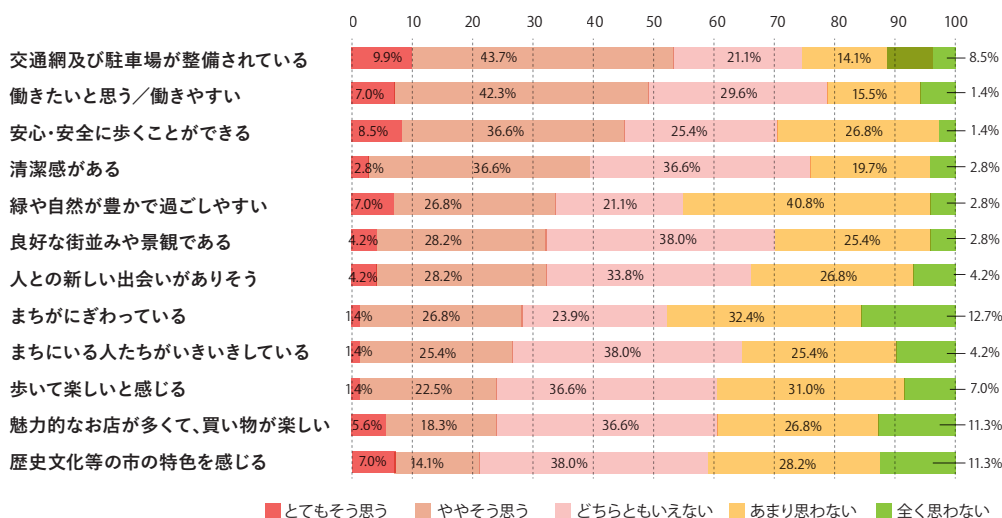
郡山駅前エリアに関するアンケート

■企業アンケート

※郡山駅西口エリアに事務所がある企業等を対象に令和5年11月に実施(回答数:71件)

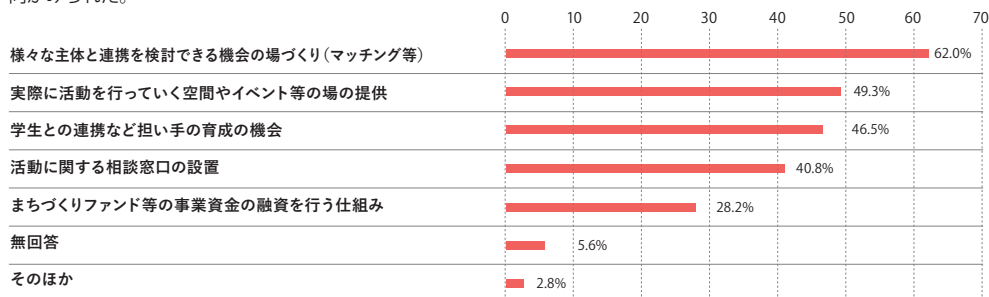
Q 対象エリアへのイメージについてお伺いします。 次の各項目について、当てはまる項目をお答えください

- 「とてもそう思う」「ややそう思う」の回答割合が高かったのが「交通網が整備されている」「働きたいと思う/働きやすい」で約半数となった。
- 一方で「緑や自然が豊かで過ごしやすい」「まちがにぎわっている」では「あまり思わない」「全く思わない」の回答割合が高くなった。



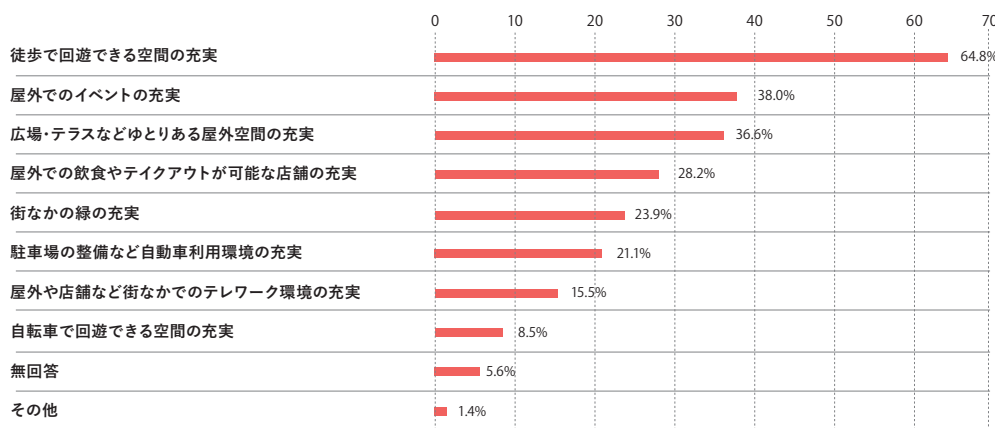
Q 今後の対象エリアで様々な主体が連携して活動するために、 どのような取り組みが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてを選択)

最も多かったのが「様々な主体と連携を検討できる機会の場づくり(マッチング等)」となり、次点で「実際に活動を行っていく空間やイベント等の場の提供」の回答割合が高かったことから、活動を行う上での拠点となる仕組みを求めている傾向がみられた。



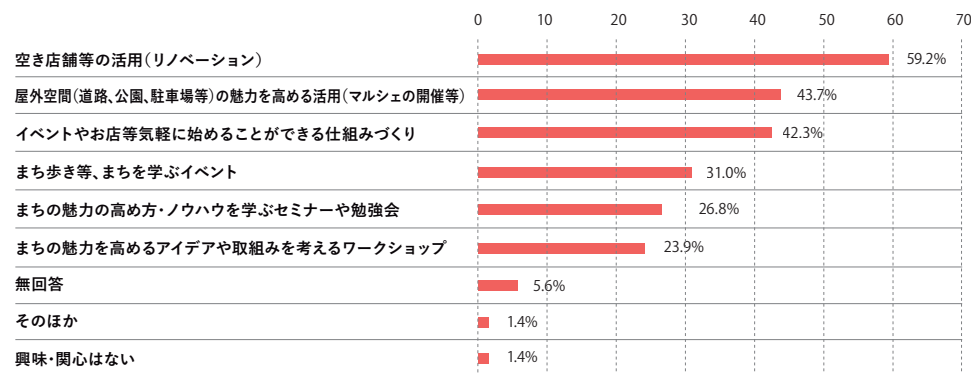
Q 今後事業者として対象エリアに必要なと思う機能をお答えください。 [3つまで選択]

- 最も回答が多かったのは「徒歩で回遊できる空間の充実」が64.8%であった一方で「自転車で回遊できる空間の充実」は8.5%と全項目の中で最も低かった。
- また、「屋外でのイベントの充実」「広場・テラスなどのゆとりある屋外空間の充実」といった屋外空間の賑わいを創出するような機能への回答が多くみられた。



Q 興味・関心のあるまちづくりに関する活動があればお答えください[3つまで選択]

最も多かったのが「空き店舗等の活用(リノベーション等)」で59.2%となっており、シャッター街などへの対策への意欲が読み取れた。



各エリア&エリプラ活動記録



【構成団体】

一般社団法人ブルーバード

一般社団法人 PEP MOTOMACHI

特定非営利活動法人まざっせ KORIYAMA

商店街きらめき 21 研究会

まちのアトツギ

公益財団法人星総合病院

株式会社うすい百貨店

トラスホーム株式会社

郡山市都市政策課

【発行】

こおりやま公民協奏エリアプラットフォーム

○こおりやまビジョンブックは国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業を活用し策定しました。